

岡崎民報

14.3.23
No.1167

岡崎市広幡町の一
23の3337
FAX 21の0712
日本共産党岡崎市委員会

福島、東北への思い新たに

3 復興支援！さよなら原発 In 岡崎集会 「原発再稼働反対」「東北復興支援！」の声響く

3月9日に笠田公園で行われた「3・11復興支援！さよなら原発 In 岡崎集会」に320人の人が集い、歌やバザー、パレードなどで市民にアピールしました。

「福島では『オール福島』の闘いが始まっています。被災地はまだまだ復興していない。ぜひ、現地を見に来てほしい」と訴えました。

集会には、被災地から駆けつけた福島県革新懇事務室長の小川さんが、現地の状況を報告。被災地の状況を伝えてくれ



会場では豚汁、被災地の生產品、コーヒーやパン、ハーブの苗などのバザーも開かれ

ました。参加者による詩の朗読、ピー・スナインによる「花は咲く」の

合唱、うたごえ、テルミンの演奏などが行われ、そのあと笠田公園を出発して、康生中心街ま

でデモ行進が行われ、「復興支援！」の声で岡崎の町に大きく響きました。

自民公明政権は、アベノミクスといわれる「財政出動」によって多額の交付金を2年間にわたり地方に割り当てています。

岡崎市では、2年間で総額約22億円が交付される予定です。

その用途はほとんどが土木事業です。地方では、公共事業を計画する際に、設計などの事前の計画が必要ですから、その多くが現在行われている

る公共事業の前倒しに当てられます。国の計画のような「むだ遣い」は少ないものの、一時的には市場にお金が流れますが、継続的な景気の回復に繋がるかは疑問の声が上

岡崎市に投入されるアベノミクスの経済対策費は・・・

国民の運動で労務単価の改善

「公共事業の低落札で下請け代金や労働者の賃金が低く抑えられている」という全国的な運動で、公共事業費を見積もる時の労務単価が15%の引き上げとなりました。岡崎市でも今年度の工事から改正労務単価で工事の積算を行っています。

必ず労働者に還元を

しかし、単価があがっても、実際に現場の労働者の賃金に反映されるかどうかが問題です。

事業のために市費約32億と市債(借金)約15億も前倒して当てられるため、市の予算編成にもしわよせがあります。

党市議団は以前から公共事業における下請け代金、労働者の賃金のダンピングを防止する「公契約条例の制定」を求めてきました。今議会でも、「労働者に反映されているかの調査」「労働者への情報公開」を求めました。

国の経済対策費によって起こされた事業数とその財源 10万円以下切り捨て

	事業数	総事業費	国庫	県費	市費	市債
2013年	32	46.8億円	12.4億円	0.33億円	28.8億円	5.5億円
2014年	18	23.8億円	10.2億円	0.06億円	3.5億円	10.1億円
計		70.6億円	22.6億円	0.39億円	32.3億円	15.6億円

住民の願い 循環バス実現に前進 矢作地域でのバス路線再編調査に予算

経済建設委員会での鈴木まさ子市議の「再編検討に当たって矢作地域でまず実施すると云うことだが、地元からの意見の聞き方はどうするのか」という質問に対して、「今の予定では市が直営で設置する地域協議会を立ち上げバス路線に対する意見集約や再編方向性をはかっていく。よりきめ細かい単位で意見集約を図るために地区、地域が主催する住



民検討会に市の職員が出席して会議の進行や資料提供など技術的援助をしていきたい。」と答弁しました。

コミュニティバスも視野に 地元組織の立ち上げが必要

さらに「地域協議会や住民検討会については地元総代に相談を投げかけている段階。矢作地域は学区ごとにニーズや課題が違うので難しい面があると思うが、既存バス路線の改善に加え、乗り合いタクシーによるコミュニティバス路線も視野に検討することを想定して

いる。そのためには運行開始後も主体的な取り組みを進めることができる組織作りが不可欠であり「公共交通がなぜ必要か」「どのように見直していけばよいか」を地域ぐるみで検討する場にしていきたい。」と答えました。

日本共産党は、各地で走るコミュニティバスの実現を岡崎でも実施を求めるため「市内全域にまちバスを」の市民要求を掲げてきました。

矢作地域をかわきりに、市内の公共交通の不足する地域にコミュニティバスを走らせるため、引き続き「意見」「要望をお聞かせ下さい。」

市民の声むなしく 桑谷山荘解体へ あじさいも伐採、 今後は自然観察の場に

来年度予算に、桑谷山荘の解体費用（4億7500万円）が経常されています。

すべての建物が解体され、第一駐車場と展望台だけが残ります。彩りを見せていたあじさいは伐採、解体後の跡地には植樹をします。

内田市長は東部地域の対話集会で、地元から出された「桑谷山荘の活用の要望」に対して、「少なくとも自動販売機でそこそこのものが買えるようなものを設ける。トイレは常設か仮設か検討する」と言っていました。担当によれば、「出来るだけ管理をしない方法で、展望台と散策路を残す。担当は観光課から自然保護の環境部に変わる」ということです。



市議会議員
鈴木まさ子



市議会議員
きまた昭子



日本共産党岡崎市議員

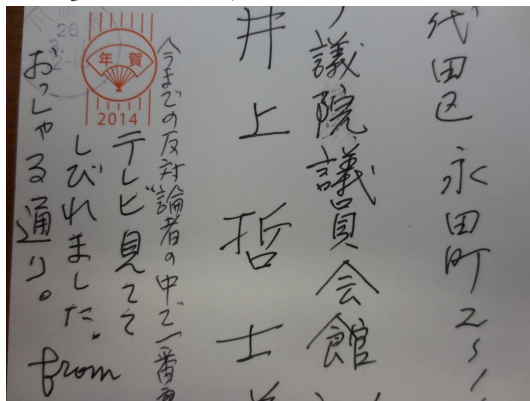
国定公園の中での新規の建設には規制が係ります。しかし、多くの市民から存続を望む声があります。雇用も増やせません。

観光都市をめざすというのなら、せめて、トイレと休憩所を設けて、朝市の存続やあじさいを残すべきです。

参議院議員 井上さとし



3月10日の予算委での原発再稼働問題での私の質問を見た方からハガキを頂きました。裏面には「共産党に入れたことはありませんが...理論、実証に基づく正論、事実を突き付けかっこよすぎです」「あなたを支持しちゃうよ」との言葉。ありがとうございます！



衆議院議員 佐々木憲昭



全国B型肝炎訴訟名古屋弁護団の代表の方々が来訪され、ウイルス性肝硬変、肝がん患者の医療費助成、身体障害者認定基準の緩和などを要請されました。愛知、岐阜、三重にお住まいで、集団予防接種によってB型肝炎ウイルスに感染した患者さんたちを救済するために、名古屋弁護団の方々は奮闘されています。私は、要望が実現するよう力を尽くすお約束をしました。



日本共産党 無料法律相談

サラ金 労働条件 相続
契約 賃金不払い 医療 離婚
住宅 教育 など



隔週 火曜日 夜6時から8時
弁護士がご相談をお受けします。

生活相談は、議員が常時お受けします。

電話 23 - 2785 までご予約下さい。